

文化経済学会<日本> 2022年度研究大会 分科会プログラム

分科会1 7月2日(土)10:00-11:45

1-A 文化政策

座長 小林 真理(東京大学)

論題	地域住民の認識する芸術文化事業の価値に関する探索的分析:霧島国際音楽祭に対する観客のイメージ分析を中心に
発表者	馬場 武(鹿児島大学)
討論者	熊田 知晃(明治大学)
論題	文化経済学における第3の市場—家元茶道圏の分析より—
発表者	太田 直希(同志社大学)
討論者	高島 知佐子(静岡文化芸術大学)
論題	企業の芸術支援とパブリック・リレーションズ —アートプレイスの類型化とその役割—
発表者	川北 眞紀子(南山大学)
討論者	熊倉 純子(東京藝術大学)

1-B 文化教育

座長 古賀 弥生(芸術文化観光専門職大学)

論題	少子化とコロナ後を見据えた工芸人材の育成環境: 専門校生へのアンケート調査より
発表者	前田 厚子(同志社大学)
討論者	後藤 和子(摂南大学)
論題	障害児者のための音楽教育センターの創設—滋賀大学音楽教育支援センター「おとさぼ」の事例をもとに
発表者	林 睦(滋賀大学)
討論者	川井田 祥子(鳥取大学)
論題	新型コロナ禍におけるアートプロジェクトを支えるボランティア/サポーター運営に関する考察
発表者	藤原 旅人(九州大学大学院)
討論者	吉澤 弥生(共立女子大学)

1-C 会員企画セッション

テーマ	持続可能な文化の将来:コロナウィルスと文化政策の再構築 英国との国際共同研究調査より
企画趣旨・内容	2020年初頭より世界を襲った感染症が文化セクターに与えた影響は甚大である。多くの公演、展覧会等が中止となり、文化従事者の仕事が奪われるとともに、アマチュアの活動も縮小、文化・芸術鑑賞機会が減少した。一方、新たにオンラインでの発表・活動が始まり、今後の創作・表現活動に変化が起こる兆しも見え、文化政策はその意義と目的が改めて問われている。本セッションは、日本学術振興会およびUKの学術助成機関から助成を受け、イギリスのキングスカレッジロンドン(共同代表:河島伸子、Hye-Kyung Lee)と今後3年間にわたり共同で進めていく研究調査計画の全体像を紹介するとともに、特に2022年度春に日英で同時実施する「文化の価値」に関する大規模なウェブ調査結果を発表する。

登壇者	河島 伸子(同志社大学) 八木 匡(同志社大学) 佐野 直哉(上野学園大学)
------------	--

分科会2 7月3日(日)9:30-11:50

2-A 文化産業(1)

座長 河島 伸子(同志社大学)

論題	クリエイティブ産業における映像制作者の第一次創作活動の創造性について —デザイン思考に着目した日本のTV番組制作者を事例対象に—
発表者	竹内 宏文(北陸先端科学技術大学院大学)
討論者	井口 典夫(青山学院大学)

論題	伝統工芸産業における海外輸出の意義—刃物産地の事例—
発表者	高島 知佐子(静岡文化芸術大学)
共同発表者	後藤 和子(摂南大学)
討論者	河島 伸子(同志社大学)

論題	創造的価値による制度的装置の構築の可能性 —加賀友禅を中心として—
発表者	荒木 由希(金沢大学大学院)
討論者	金 善美(成蹊大学)

論題	データクラスタリング・マイニングに基づく映像作品と地域活動との関係性分析
発表者	山本 智葉(青山学院大学大学院)
討論者	田中 康之(事業構想大学院大学)

2-B まちづくり

座長 野田 邦弘(横浜市立大学客員教授)

論題	寺院宿坊を活用したアーティスト・イン・レジデンス(AIR)の可能性 —地域活性化の観点から—
発表者	和栗 隆史(大阪府立大学大学院)
討論者	菅野 幸子(AIR Lab)

論題	テロワール産品の構築と観光振興:サヴォワ地方のチーズをめぐって
発表者	森崎 美穂子(帝京大学)
討論者	太下 義之(同志社大学)

論題	ロケ地における観光振興の実態と持続可能な観光政策のあり方に関する研究 —滋賀県における映画ロケ地を中心事例として—
発表者	古関 和典(法政大学大学院)
討論者	古池 嘉和(名古屋学院大学)

2-C 文化施設

座長 川本 直義(株式会社伊藤建築設計事務所)

論題	日本の歴史的建造物の再生における文化コンテンツの創造について考察—石川県金沢市民芸術村のドラマ工房・ミュージック工房・アート工房のアクションプランの実態に注目して—
発表者	瞿 芳馨(筑波大学大学院)
討論者	萩原 雅也(大阪樟蔭女子大学)

論題	築後27年木造公共ホール(中津江ホール)の解体計画をめぐる旧守的ハコモノ行政の批判的検討～日田市中津江ホールをめぐる～
発表者	藤原 恵洋(九州大学)
討論者	勝又 英明(東京都市大学名誉教授)

論題	社会的投資を活用した官民連携によるスポーツ施設整備の一考察 -熊本県フットボールセンターを事例として-
発表者	内藤 正和(愛知学院大学)
共同発表者	米村 真悟(特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクール)
共同発表者	横山 勝彦(同志社大学)
討論者	中嶋 大輔(京都外国語大学)

論題	オルタナティブスペースを振り返る ～札幌の事例から～
発表者	加藤 康子(北海道大学大学院)
討論者	佐藤 良子(芸術文化観光専門職大学 地域リサーチ&イノベーションセンター)

分科会3 7月3日(日)14:30-16:50

3-A 文化産業(2)

座長 増淵 敏之(法政大学)

論題	アニメと日本型オープンイノベーションの可能性:ガンダムファクトリー横浜の事例から
発表者	飯塚 まり(同志社大学)
討論者	松永 伸太郎(長野大学)

論題	漢服の価格について
発表者	陳 淑娟(同志社大学大学院)
討論者	三田 知実(熊本県立大学)

論題	映画産業の「中間」考察:デジタル化以降の映画配給モデルの変容
発表者	森下 詩子(東京大学大学院)
討論者	松本 淳(敬和学園大学)

論題	フジテレビの映画製作事業における人的、組織的経営資源の多層的構築 - 1995年から2010年にかけて -
発表者	金井 秀介(立命館アジア太平洋大学)
討論者	岩崎 達也(関東学院大学)

3-B 文化統計

座長 阪本 崇(京都橘大学)

論題	日本の文化創造産業の統計整備に向けた学術報告 -民間公益文化セクターである大都市圏のライブハウス・クラブへのCOVID-19の影響分析に関する定性的調査に基づいて-
発表者	池田 真利子(筑波大学)
共同発表者	柿沼 由樹(筑波大学大学院)
共同発表者	熊谷 美咲(筑波大学大学院)
討論者	朝倉 由希(公立小松大学)

論題	文化的活動への参加と世帯収入・個人収入
発表者	勝浦 正樹(名城大学)
討論者	片岡 栄美(駒澤大学)

論題	社会的文脈の異なる提示条件がもたらす心的影響の差異に関する研究
-----------	---------------------------------

発表者	牧 和生(京都橘大学)
討論者	勝浦 正樹(名城大学)

論題	劇団公演の経年データ分析の試み
発表者	米屋 尚子(芸術コーディネーター)
共同発表者	坂部 裕美子((公財)統計情報研究開発センター)
討論者	牧 和生(京都橘大学)

3-C 文化価値

座長 八木 匡(同志社大学)

論題	地域おこし協力隊員によるコミュニティ出会い直しの場の創出と課題～北海道美唄市 南美唄地区における「南美縁会」がもたらす文脈・矜持・紐帯の再生の検討～
発表者	岩井 千華(美唄市教育委員会)
討論者	田代 洋久(北九州市立大学)

論題	花街文化の価値 —コロナ下の京都「おおきに財団」の取り組みを中心に—
発表者	中原 逸郎(楓錦会)
討論者	宮崎 刀史紀((公財)京都市音楽芸術文化振興財団)

論題	企業政策によるスポーツ文化の保護の指針に向けて —株式公開の視点から—
発表者	有吉 忠一(同志社大学大学院)
共同発表者	横山 勝彦(同志社大学)
討論者	伊吹 勇亮(京都産業大学)